◆ R7/9/3 Vol.25.07 No.224 ◆

■□■　北工試だより　～道総研工業試験場メールマガジン～ ■□■

夏の暑さも落ち着き、秋の爽やかな気候となってきました。過ごしやすい一方で、
天候が変わりやすい季節ですので、どうぞ体調管理にお気を付けください。
さて、今月は工業試験場の職員が講師を務め、研究開発した技術をわかりやすく
ご紹介する、「道総研セミナー」を開催いたします。皆さまのご来場を心よりお待ち
しております。

☆　☆　☆　☆　☆　目次　☆　☆　☆　☆　☆

【1】ものづくり関連の各種研修会のお知らせ（3件）【参加無料】
【2】道総研セミナー「品質と保存を極める！食品加工研究の最前線」開催のお知らせ
【3】公開シンポジウム「分析化学における信頼性確保のための取り組み」のご案内
【4】新人紹介　～材料技術部　菅　研究職員～
【5】北海道中小企業新応援ファンド事業の2次募集について
【6】「ほっかいどう受発注拡大商談会2025」受注企業募集のご案内

＊＊

【1】ものづくり関連の各種研修会のお知らせ（3件）【参加無料】

＊＊

道総研産業技術環境研究本部　ものづくり支援センターでは、道内のものづくり
企業等を対象に、各種研修会を開催予定です。
現在、下記研修会の参加を募集しております。皆さまのお申し込みをお待ちして
おります。

[1] 3Dデジタル造形研修(第2回)　(締切10/3)
◆日時：令和7年10月10日（金）14：00～17：00
◆場所：工業試験場（札幌市北区北19条西11丁目）
◆方法：ハイブリッド開催
◆内容：製造業におけるDX化・デジタル化に重要な3Dプリンターについて、活用方法や
導入事例などの基礎知識を学ぶ研修会を開催します。第2回は、3D プリンターを活用し
た樹脂プリントの最新の事例をわかりやすく紹介します。研修当日、会場ではサンプル
を展示します。製品開発・研究開発に向けた情報収集や新人研修の場として活用いただけ
ます。
◆講師：北海道大学大学院工学研究院　教授　東藤 正浩　氏
　　旭化成(株) マテリアル新事業開発センター
サステナブルポリマー研究所XRP開発プロジェクト 主査　荒谷 悠介 氏
　　JRA 栗東トレーニングセンター 競走馬診療所・装蹄室 装蹄師　金子 大作 氏

◆申込フォーム：
https://forms.gle/rhGCXavY8edwwG1q8
▼詳しい内容はこちらをご参照ください。
https://www.hro.or.jp /upload/54546/253d1010.pdf

[2]生産管理セミナー（中級編）（締切10/31）
◆日時：令和7年11月11日（火）13：30～17：00
◆場所：工業試験場（札幌市北区北19条西11丁目）
◆方法：対面開催
◆内容：道総研が開発した、自分達で自社の生産管理レベルを判断できるチェックリ
ストの活用方法を学び、カイゼン活動を実践できる人材を育成する研修会です。
トヨタ生産方式を長年指導してきた生産管理の専門家がその核心を解説します。
◆講師：齋藤コンサルティングオフィス　代表　齋藤　均　氏
　　道総研　ものづくり支援センター　　畑沢　賢一

◆申込フォーム：
https://forms.gle/86UCTGTDinSVUSR76
▼詳しい内容はこちらをご参照ください。
https://www.hro.or.jp/upload/54256/25jinzai1111.pdf

[3]原価計算セミナー　(締切10/8)　(再掲)
◆日時：①10月15日（水）13：30～16：30
　　②10月22日（水）13：30～16：30
◆方法：集合開催
◆会場：工業試験場（札幌市北区北19条西11丁目）

◆内容：人材不足や資材高騰など、中小製造業にとって厳しい現況を乗り越える方策を
原価計算の観点から最新動向を交えて、わかりやすく解説します。
◆講師：本田経営企画　代表　本田　康夫　氏
◆申込フォーム：https://forms.gle/MExCUgqB7aGegEPcA

▼詳しい内容はこちらをご参照ください。
https://www.hro.or.jp/upload/53727/25genka.pdf

【お問い合わせ先】
道総研 産業技術環境研究本部　ものづくり支援センター
TEL：(011)747-2324 / FAX：(011)726-4057
E-mail：kaihatsu@hro.or.jp

＊＊＊
【2】道総研セミナー「品質と保存を極める！食品加工研究の最前線」開催のお知らせ
＊＊＊
食品加工の現場では、素材の見えない劣化や長期保存時の品質保持といった課題への
対応が求められています。本セミナーでは、「品質と保存を極める！食品加工現場の
最新技術」と題して、当場からはニンジン内部の木質化をAIと光で判別する装置の開発
について、食品加工研究センターからはカレーやシチューなどのパウチ入り惣菜について、
農産具材の軟化を抑え、長期冷蔵保存する加熱殺菌技術の開発についてそれぞれ相当した
研究員がご紹介します。

◆日時：令和7年9月27日（土）13:30～14:30
◆場所：紀伊國屋書店札幌本店1階インナーガーデン
（札幌市中央区北5条西5 sapporo55）
◆参加費：無料
◆定員：45名（事前申し込み不要）
◆主催：道総研（地方独立行政法人　北海道立総合研究機構）
◆後援：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会

1. AIと光でニンジン内部の木質化検査を自動化
◆内容：ニンジンの加工現場では、原料内部の品質検査を全て手作業で行っていること
から、検査を省人化することが課題です。AIと光で内部を判別する検査装置開発事例を
紹介します。
◆講師：道総研　産業技術環境研究本部
　　ものづくり支援センター　主査　川島　圭太

2. パウチ入り惣菜の保存性向上
◆内容：加工食品の加熱殺菌では品質低下が課題になります。カレーやシチューなどの
パウチ入り惣菜を長期間冷蔵保存するための加熱殺菌条件と農産具材の軟化低減
方法を紹介します。
◆講師：道総研　産業技術環境研究本部
　　食品加工研究センター　主査　小林　哲也

▼詳しい内容はこちらをご参照ください。
https://www.hro.or.jp/hro/info-headquarters/event-info/seminar.html

【お問い合わせ先】
道総研　経営管理部　企画・広報室
TEL：011-747-2900
E-mail：hq-soudan@hro.or.jp

＊＊＊
【3】公開シンポジウム「分析化学における信頼性確保のための取り組み」のご案内
＊＊＊
日本分析化学会第74年会にて、化学分析に関わる特別シンポジウムを開催します。
化学分析においては、分析操作の結果から得られる値が最も確からしいかを十分に検証し、
数値の信頼性を確保する必要があります。本シンポジウムでは、産官学の様々な立場の
方から信頼性確保のために取り組んでいる事例を紹介していただきます。日頃より化学
分析の業務に携わる方や、化学分析にご興味をお持ちの方など、広く参加をお待ちし
ております。

企画・オーガナイザー：上本　道久　氏（明星大学）・

明本　靖広・若杉　郷臣・富田　恵一（道総研）

◆開催日時：令和7年9月26日(金)　13：00～15：30
◆会場：北海道大学工学部　B棟1階　A会場（B31講義室）（札幌市北区北13条西8丁目）
◆参加費用：無料
◆講演内容
「鉄鋼分析における熟練技術者の暗黙知の可視化」
　宇都宮大学　上原　伸夫　氏
「北海道における環境計量証明事業所を対象とした共同分析」
　道総研　エネルギー・環境・地質研究所　富田　恵一・若杉　郷臣
「日環協の環境測定分析における信頼性確保の取り組み」
　（一社）日本環境測定分析協会　小野寺　明　氏
「貴金属元素の高精確分析におけるICP-OESでの取り組み」
　田中貴金属工業（株）　天野　正勝　氏
「産学連携による高純度マグネシウム及び汎用マグネシウム合金の認証標準物質の開発」
　明星大学　上本　道久　氏

◆申込方法：
公開シンポジウムのため、事前登録なしで直接会場へお越しください。

▼詳細は下記ウェブサイトをご覧ください。
https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/jsac74nenkai/content/symposium

【お問い合わせ先】
日本分析化学会第74年会実行委員会事務局
E-mail：74nenkai@jsac.jp

＊＊
【4】新人紹介　～材料技術部　菅　研究職員～
＊＊
4月より材料技術部 素形材技術グループに配属されました、菅 結実花(すが ゆみか)と
申します。私は札幌市出身ですが2009年から旭川市で過ごし、16年ぶりに札幌に戻って
まいりました。
前職は旭川高専の技術職員・機械システム工学科の教員として学生教育に従事し、機械
加工や塑性加工、機械設計や力学的解析など多岐にわたり手がけてきました。また、
社会人ドクターとして北見工大で植物工場の研究をしておりました。
道総研では、造形材料を溶解・焼結し積層する金属積層造形（Additive Manufacturing）
や鋳造に関する研究に携わっています。昔ながらの技術と最先端の技術を組み合わせ、
道内製造業に役立てる新たな技術開発に尽力してまいります。金属関係でお困りのこと
がございましたら、当グループまでお気軽に問い合わせください。どうぞよろしく
お願いいたします。

＊＊
【5】北海道中小企業新応援ファンド事業の2次募集について
＊＊
北海道中小企業総合支援センターでは、「北海道中小企業新応援ファンド事業」を
行っております。北海道中小企業新応援ファンドは、（独）中小企業基盤整備機構、
北海道、札幌市、金融機関が資金を拠出して組成したもので、ファンドの運用益を基に、
道内における新たな産業の創出や事業化を支援します。

◆事業メニュー
(1)創業促進支援事業
　対象：道内の創業者（前年4月以降に創業した中小企業者を含む）
　補助率1/2以内(上限100万円)
(2)地域資源活用型事業化実現事業
　対象：道内の中小企業者等又は農商工連携事業計画認定事業者
　補助率:1/2以内(上限150万円)
　※地域資源を使った新商品開発からマーケティングまでに使えます。
(3)製品開発チャレンジ支援事業
　対象：道内の中小企業者等
　補助率1/2以内（上限50万円）
　※製品開発の“前段階”の事前検証・検査・分析に使えます。
◆募集締切日：令和7年9月26日(金)（午後5時必着）

▼詳しい内容はこちらをご覧ください。
https://www.hsc.or.jp/news/2025fund_2nd/

【お問い合わせ・お申し込み】
（公財）北海道中小企業総合支援センター　企業振興部企業振興G
TEL：011-232-2403
E-mail：jyoseishien@hsc.or.jp 011-232-2403

＊＊＊
【6】「ほっかいどう受発注拡大商談会2025」受注企業募集のご案内
＊＊＊
(公財)北海道中小企業総合支援センターと(一社)北海道機械工業会では、北海道内
調達を希望する道内外の発注企業と、受注意欲のある道内企業との個別商談の機会を
設けるため、商談会を開催いたします。つきましては、下記のとおり受注企業を募集
いたしますので、是非ご参加くださいますようお願いいたします。詳しくは、下記の
Webサイトをご確認のうえ、お申し込みください。

◆日時：令和7年10月28日（火）13:00～17:20
◆会場：札幌パークホテル　地下2階「パークプラザ」（札幌市中央区南10条西3丁目）
◆参加費用：無料
◆募集受注企業：道内の受注企業80社程度
※発注企業名・発注案件の内容は下記Webサイトをご覧ください。
◆申込方法：
下記Webサイトより参加申し込み書（受注企業用）を取得のうえ9月5日(金)までに
下記Webサイト内にございます、電子申請フォームよりご提出ください。

▼詳細は下記ウェブサイトをご覧ください。
https://www.hsc.or.jp/news/2025syoudankai_bosyu2/

【お問い合わせ先】
(公財)北海道中小企業総合支援センター
企業振興部　企業振興G　　鈴木・呉羽（くれは）
TEL：011-232-2406
E-mail：torihiki@hsc.or.jp

＝＝
　■□■　このメールマガジンについて　■□■
登録内容の変更や、アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の
メールアドレスにご連絡ください。
変更の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がござ
います。ご了承ください。

▼購読申込・変更・配信停止はこちら
iri-johoteikyo@ml.hro.or.jp

◎皆さまからのご意見、ご質問、ご感想などをお待ちしております
[　編集・発行　]
（地独）道総研　産業技術環境研究本部
　　ものづくり支援センター　技術支援部工業技術支援G
E-mail：iri-johoteikyo@ml.hro.or.jp
ホームページ：
https://www.hro.or.jp/industrial/research/iri/index.html
＝＝